

●芦屋市立宮川小学校 (田中 銀之助:作曲)

(一)

山ふところに 湧き出でて
みどりをうつす 宮川や
芦が根ひたし ゆく水の
清きころを おもうなり

(二)

雲居の空に そびえたつ
いただき高き 六甲の
いよいよかたき 岩が根に
ゆるがぬ姿 なるうかな

(三)

打出の浜に よせかえす
ときの潮に こけむすや
真砂のちえの かずかずを
心にとめて みがくなり

●芦屋市立岩園小学校 (信時 潔:作曲)

(一)

六甲の山なみ 背において
茅渚の浦風穏やかに
ものみな光る学舎の
幸ある子らと生いたてり
我らが母校岩園の
名よ日のごとく昇れかし

(二)

ゆかりも深き 阿保みこの
み墓にしげるときわぎを
うつす鏡とたまみがく
栄えある子らと選ばれぬ
我らが母校岩園の
名をくみりなくあらわさん

●芦屋市立精道中学校 (信時 潔:作曲)

(一)

真向こう北の青雲に
しげく起き伏す山なみの
光りてうかふいやはてを
のぞみて集うわがどちの
学びのわざをはずませて
においぞ出でん精道中

(二)

南をめぐる黒潮を
のせてさしくる潮騒に
ざわめく芦の夢遠き
みぎわの真砂数ませど
いずれは珠とみがかれて
大らかにのび育つ日ぞ

●芦屋大学附属芦屋女子高等学校(山田 耕柞:作曲)
芦屋女子中学校

(一)

晴れわたる日に照り匂ふ おのづからなる海のいろ
みうたにこたへまつらむと 心も澄みてうつくしく
かがみのうつすすがたさへ 倦まず撓まず磨かなむ

(二)

たたずまひては映え匂ふ ひにけに親し山のいろ
芽立の芦のいさぎよく のびゆくきほひ身にそへて
学びのわざをはげみなば をとめぞやがてかがやかむ

(三)

うばらのはなの咲き匂ふ みちにはあらぬ世のさまは
さもあらばあれ学苑に 夢多き日をわがどちの
集ひて睦みいそしめば 仰ぐ青雲光あり